

令和6年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：5 桁学校番号
 学校名：前田中央小学校

	令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 ソフトボール投げ、50m 走、握力 20m シャトルラン、反復横跳び、上体起こし	○前回の記録より下回った種目 立ち幅跳び、長座体前屈、	持久力を高めるために、なわとび集会を定期的に関催し、記録の推移を視覚化することで、伸びの実感が高まり、持久力も高まったと考える。
体力・運動能力 <女子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 ソフトボール投げ、50m 走 反復横跳び、握力	○前回の記録より下回った種目 立ち幅跳び、20m シャトルラン 長座体前屈、上体起こし	運動会の練習前と練習後の 50m 走記録を比較することで、伸びだけでなく、運動（練習）の効果も実感でき、次への運動意欲も高めることができた。
運動・スポーツへの意識、 運動習慣	運動・スポーツが好きな児童は多いが、自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいと答えた児童は少なかった。睡眠時間が少ない児童の割合が高めである。	楽しく運動している児童が多いが、苦手意識をもつ児童の割合も高い。できなかったことができるようになったり、自分のペースで運動したりすることを望んでいる児童が多い。	休み時間に積極的に運動する子と、そうでない子の二極化が見られる。健康な体づくりの一環として体力向上を進めているが、運動する意欲を掻き立てる仕掛けに工夫が必要である。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自らの健康づくりを図る取組の充実
-------	-----------------	-----------------------	-----------------------

具体的な取組	<p>「<u>単元計画</u>」の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元を通して資質・能力が高まるよう、スキルアップの時間、交流の時間、試しの時間など、単元構成を工夫する。 <p>「<u>課題探究的な学習</u>」「<u>汗をかく体育</u>」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動や学習意欲を喚起・持続させるために、 ①自らが課題を見いだす手立ての工夫 ②自らの技能の向上に結び付くような交流の場の工夫 ③自分の伸びの実感や自分の再確認（教師の励ましの声、学習カードの工夫、ICT の効果的な活用）を授業に位置付けるよう努める。そして、運動量を確保する。 	<p>「<u>時間</u>」「<u>空間</u>」「<u>仲間</u>」の創出 ～「<u>きらめきウィーク</u>」～</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師が積極的に運動を呼び掛ける週間を月に1回（1週間）行う。投げる・跳ぶ・走るなど、動きたくなるような場と用具を用意することで、子どもの「運動したい」を引き出す。 <p><u>きらめきウォークの実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> きらめきウィークの中の1日は、全校お散歩デー「きらめきウォーク」とする。運動を大げさに考えている児童が、「散歩も運動なんだ！」と気づき、体を動かす楽しさとともに、光を浴びる心地よさを味わわせる。6年間継続して使う「縄跳び進級表」の活用・6年間を通して活用できる「縄跳びカード」を作成・活用する。 	<p><u>よい睡眠のための「光・暗闇・外遊び」のすすめ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> きらめきウィーク中に「ぐっすりデー」を設け、家庭の協力を得ながら、よい睡眠を目指す。その日は「光・暗闇・外遊び」の3要素を意識して、翌日に体の調子について交流し、睡眠の効果を実感させる。 <p><u>健康教育の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養教諭による食育教育を教育課程に位置付ける。食の大切さや、日頃の実践意欲の向上へと結び付ける。 外部講師を活用した保健指導を年1回行い、健康に関する知識と実践意欲を高める。
--------	--	---	---

家庭・地域との連携・協働

- 学校評価アンケート（保護者、児童、教職員）に運動に関する項目を設定し、結果を教育活動に生かす。
- ぐっすりデーカードを家庭に持ち帰り、就寝・起床時刻を記入する。 ・お便りで啓発する。
- 体育的行事（運動会）で、日頃の成果を発表する。 ・プロスポーツ選手との交流の場を設定する。

